



栄養・子ども学部 子ども教育学科

准教授 **乙部 貴幸** OTOBE Takayuki

専門・活動分野 **発達科学、発達心理学**

最新の研究内容

テーマ：乳幼児の行動発達と物的・メディア環境

研究/活動紹介

①乳児の絵本の読み聞かせと注意傾向

ブックスタート運動という、乳児に絵本を配布して読み聞かせを促進する事業が全国の多くの自治体に浸透しているが、言語が未発達な乳児に絵本の読み聞かせをすることが、実際の乳児の行動にどのような影響を及ぼすのかは明らかではなかった。そこで本研究では、様々な月齢・条件において乳児の絵本への注視行動がどのように変化するかについて検討した。

視線計測器を用いて、読み聞かせなし（無音）条件と読み聞かせあり条件にわけて様々な月齢の乳幼児の絵本への注視時間を比較したところ、4ヶ月児では読み聞かせによる行動変化は認められなかったが、10ヶ月児において読み聞かせ条件の方が絵本を長く見ていた。また、10ヶ月児に対し無音条件、BGM条件、親による読み聞かせ条件、録音された読み聞かせ条件の4条件に更に細分化して絵本への注視時間を比較したところ、読み聞かせを行った2つの条件は他の条件よりも注視時間が長かった。また、読み聞かせ条件間では差がなかった。

これらのことから、読み聞かせが乳児の注意行動に実際に影響を与えはじめる時期があること、人の音声聞こえることが重要なことが示唆された。

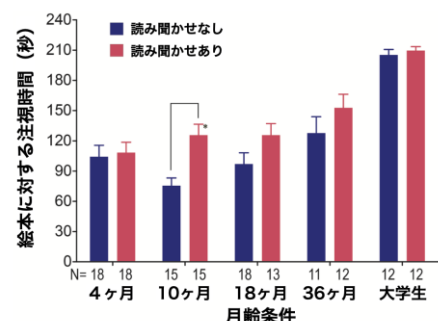
②乳幼児とメディア・玩具

子育て家庭や保育の現場は、知育玩具や絵本の読み聞かせなど、乳幼児の物的・メディア環境に関わる産業と密接に繋がっている。絵本に限らず、様々なものやメディアに対する乳幼児の好みや行動の変化について、国内外の研究についてフォローしている。

<視線計測器を用いた実験の様子>



<各月齢における絵本への注視時間>



産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 保育現場や子育て家庭における様々な物的・メディア環境について、可能な手段を用いて科学的に測定・評価することにご協力します。その際、何らかの項目において高い・低いといった単純化された結果だけを求めるのではなく、その結果が子どもの健やかな発達にどのように関係し、どのような意味を持つのかについて議論することが最も重要です。

学会・経歴

- ・ 日本赤ちゃん学会 理事
- ・ 北陸心理学会 編集委員
- ・ 日本心理学会
- ・ 日本発達心理学会
- ・ 日本教育心理学会
- ・ 福井市保育カウンセラー

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp